

取扱説明書

非絶縁 4 点
直流電圧出力カード

形 式
R8-YVM4N

ご使用いただく前に

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

■梱包内容を確認して下さい

・直流電圧出力カード1 台

■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

ご注意事項

●EU 指令適合品としてご使用の場合

- ・本器は盤内蔵形として定義されるため、必ず制御盤内に設置して下さい。
- ・お客様の装置に実際に組込んだ際に、規格を満足させるために必要な対策（例：電源、入出力にノイズフィルタ、クランプフィルタの設置など）は、ご使用になる制御盤の構成、接続される他の機器との関係、配線等により変化することがあります。従って、お客様にて装置全体で CE マーキングへの適合を確認していただく必要があります。

●取扱いについて

- ・本体の取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、電源および出力信号を遮断して下さい。
- ・通電時はコネクタに触れないで下さい。静電気などの影響で誤動作する場合があります。
- ・本体側面のディップスイッチおよびロータリスイッチは、電源が遮断されたメンテナンス時のみ設定可能であり、通電時は操作しないで下さい。

●設置について

- ・屋内でご使用下さい。
- ・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
- ・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
- ・周囲温度が -10 ~ +55℃を超えるような場所、周囲湿度が 30 ~ 90 % RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。

●配線について

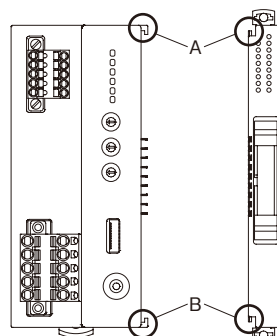
- ・配線は、ノイズ発生源（リレー駆動線、高周波ラインなど）の近くに設置しないで下さい。
- ・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

●その他

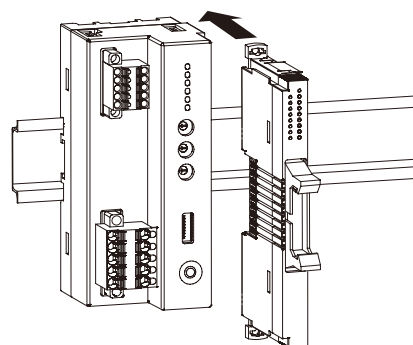
- ・本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 10 分の通電が必要です。

取付方法

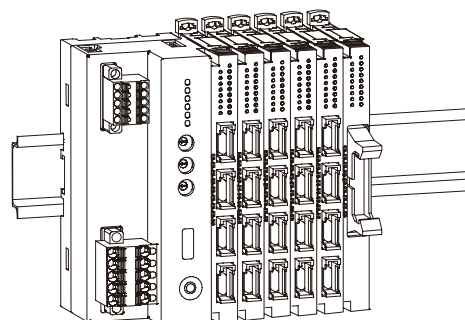
●入出力カード



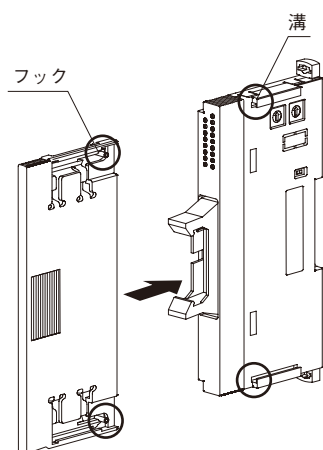
- ・入出力カードのスライダが閉じていることを確認し、各カード（ユニット）の凹凸（図のA、B）を合わせるように、DINレールに対して垂直にまっすぐ差込みます。



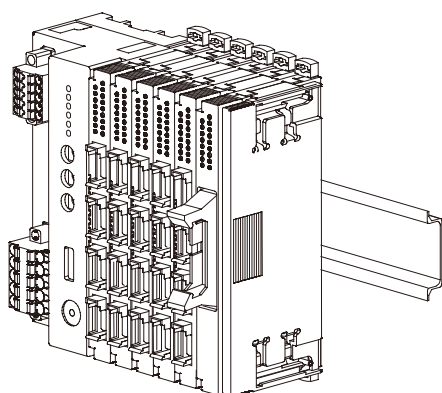
- ・入出力カードを追加する場合も同じようにして下さい。



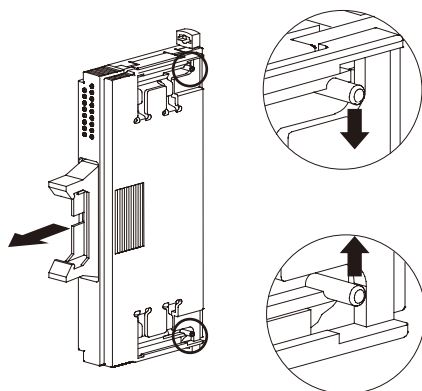
●エンドカバー



- ・接続した一番右端の入出力カードに、エンドカバーを装着します。
- ・カバー側のフックと入出力カード側の溝を合わせ、止まる位置までまっすぐ挿入します。

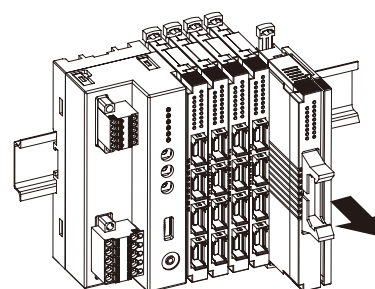
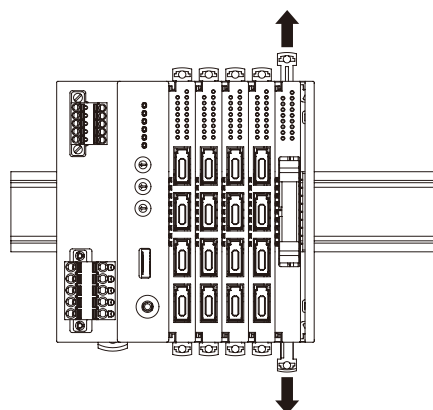


- ・取外す場合は、カバー側フックを内側に押しながら引抜きます。

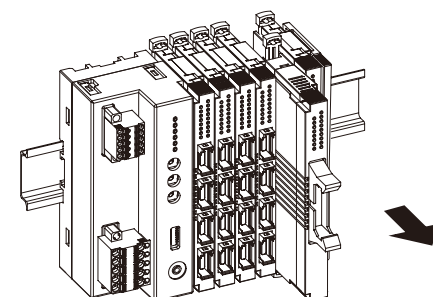
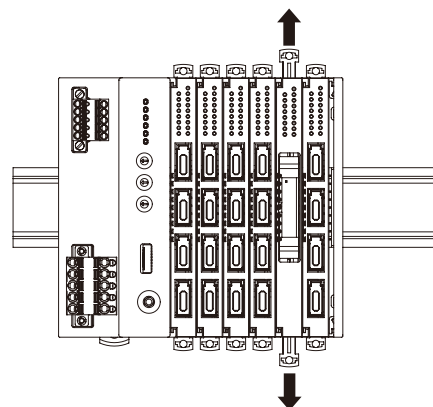


■取外方法

- ・取外したい入出力カードのスライダを外側へずらし、ロックを外した状態で手前にまっすぐ引抜きます。



- ・中間の入出力カードを取外す場合



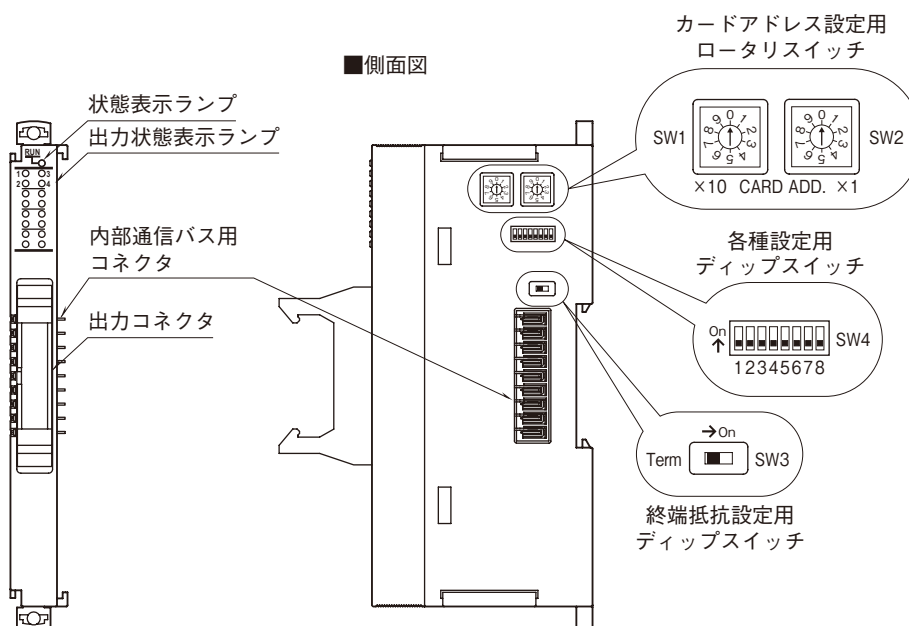
注1) 内部通信バス用コネクタは先端がとがっているので、怪我をしないように注意して下さい。

注2) 入出力カードのみの設置時は、入出力カードが横に動きやすい状態になります。落下等の恐れがある場合、エンドプレートを設置するようにして下さい。

各部の名称

■前面図

■側面図



■表示ランプ

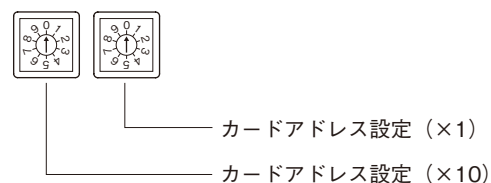
名 称	ランプ動作	機器動作
状態表示 ランプ	消灯	停止中
	緑色点灯	上位との通信が有効
	緑色点滅	コンフィギュレーション中
	赤色点灯	設定エラー
	赤色点滅	パラメータエラー
出力状態表示 ランプ	消灯	出力データ範囲内
	赤色点滅	出力データ範囲外

■出力コネクタ端子配列

ピン番号	信号名	機 能
1	Ao1P	出力 1(+)
2	Ao1M	出力 1(−)
3	Ao2P	出力 2(+)
4	Ao2M	出力 2(−)
5	Ao3P	出力 3(+)
6	Ao3M	出力 3(−)
7	Ao4P	出力 4(+)
8	Ao4M	出力 4(−)
9	—	NC
10	—	NC
11	—	NC
12	—	NC
13	—	NC
14	—	NC
15	—	NC
16	—	NC
17	—	NC
18	—	NC
19	—	NC
20	—	NC

■カードアドレス設定 (SW1、2)

カードアドレスはロータリスイッチにて設定します。
10 の桁を左のロータリスイッチで、1 の桁を右のロータリスイッチで設定します。カードアドレスは 0 ～ 30 ま
で使用可能です。(工場出荷時は 0)



■動作モード設定

(*) は工場出荷時の設定

●出力レンジ設定 (SW4-1、2)

出力一括の設定になります。
出力ごとの設定は、PC にて行って下さい。

出力レンジ	SW4	
	1	2
-10～+10 V DC (*)	OFF	OFF
0～10 V DC	ON	OFF
0～5 V DC	OFF	ON
1～5 V DC	ON	ON

●通信断時出力設定 (SW4-7)

出力一括の設定になります。

通信断時出力	SW4-7
出力保持 (*) (前回正常受信データを保持)	OFF
出力クリア	ON

注 1) 出力クリアの場合、コンフィギュレーションモードが
ディップスイッチのとき、出力を -5 % に固定。PC のとき、
通信断時スケーリング値に固定。

●コンフィギュレーションモード設定 (SW4-8)

コンフィギュレーションモード	SW4-8
ディップスイッチ(*)	OFF
PC	ON

注 2) SW4-3 ～ 6 は未使用のため、必ず“OFF”にして下さい。

■終端抵抗設定 (SW3)

終端抵抗	SW3
無効(*)	OFF
有効	ON

コンフィギュレータソフトウェア設定

コンフィギュレータソフトウェアを用いることにより、以下の設定が可能です。

コンフィギュレータソフトウェア（形式：R8CFG）の使用方法については、R8CFG の取扱説明書をご覧ください。

■チャンネル個別設定

項 目	設定範囲	初期値
出力レンジ	-10～+10 V DC	-10～+10 V DC
ゼロ出力値	-10.00～+10.00 (V)	-10.00 (V)
スパン出力値	-10.00～+10.00 (V)	10.00 (V)
ゼロ微調整	-320.00～+320.00 (%)	0.00 (%)
ゲイン微調整	-3.2000～+3.2000	1.0000
ゼロスケーリング値	-32000～+32000	0
フルスケーリング値	-32000～+32000	10000
起動時スケーリング値	-32000～+32000	0
通信断時スケーリング値	-32000～+32000	-500

■チャンネル一括設定

項 目	設定範囲	初期値
内部通信バス通信断検出時間	0.0～99.9 (sec)	1.0 (sec)
通信断時出力	出力保持 (前回正常受信データを保持) / 出力を通信断時スケーリング値に固定	出力保持 (前回正常受信データを保持)
コンフィギュレーションモード	ディップスイッチ (OFF) PC (ON)	ディップスイッチ (OFF)

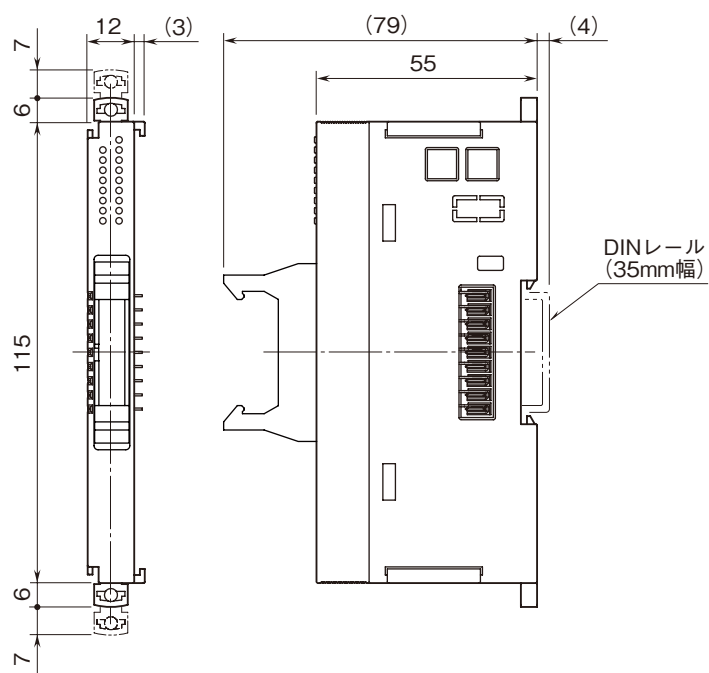
注) 出力レンジ、通信断時出力をコンフィギュレータで設定するためには、SW4-8 を ON に設定して下さい。

コンフィギュレータ設定は、電源通信ユニットにより行います。

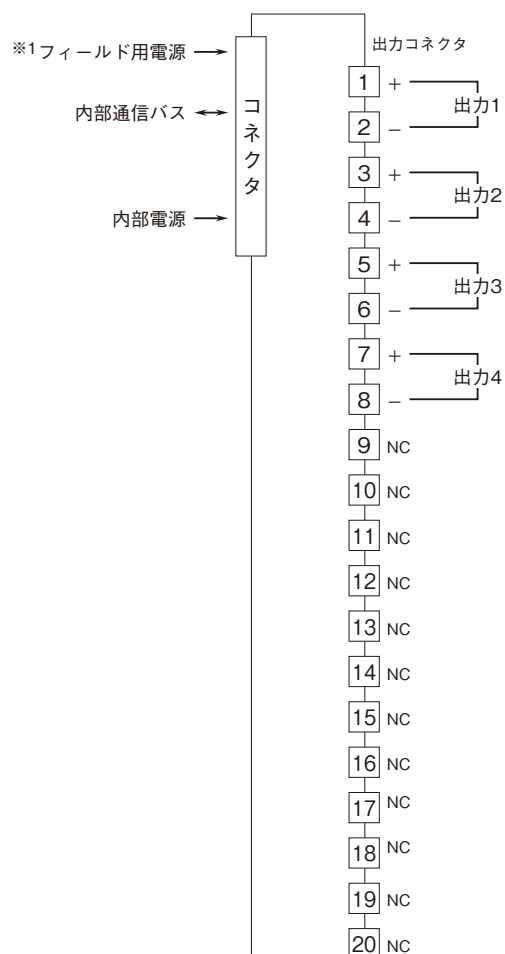
接 続

各端子の接続は端子接続図を参考にして行って下さい。

外形寸法図 (単位 : mm)



端子接続図



※1、フィールド用電源は使用しません。

配 線

■MIL コネクタ

本体側コネクタ：弊社製

推奨ソケット：XG5N-201（オムロン製）^{*1}

推奨コンタクト：XG5W-0231（オムロン製）^{*1}

適合電線：AWG22、素線数 17 本、素線径 0.16 mm

^{*1}、本器には付属しません。詳細は、メーカーカタログをご参照下さい。

保 証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後 3 年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。